

小曾木4丁目火災で感謝状

令和8年1月10日の小曾木4丁目の火災において、火災拡大防止の功績により東京消防庁青梅消防署長からの感謝状が、高山文雄さん、萩宇田剛さん、萩宇田こすえさん、宿谷航さんに渡されました。



黒澤大祭

黒澤大祭が5月18日(日)、開催されました。里山に映える山車と神輿、お囃子の音。

黒澤2丁目柳川交差点での、山車と神輿の競演。地域が一体となっていました。



青梅市における小中学校の20年先へ向けた動き

【青梅市立学校施設のあり方審議会の設置】

2023年7月、青梅市では、児童・生徒数の減少、学校施設の老朽化等に対応し、青梅市の地域性および特性に即した将来の教育環境の充実を図るため、「学校施設の統合」や「公共施設との複合化」などに関する事項について専門分野を含めて様々な視点から調査審議をするため、青梅市立学校施設のあり方審議会(以下審議会と記載)を設置。2024年2月に橋本雅幸教育長より審議会に諮問。



【青梅市の地域性および特性に即した学校施設のあり方についての中間報告が審議会から出される】

2023年度から2024年度までの調査・審議の内容をまとめた審議会の中間報告が2025年7月に教育委員会に提出された。学校規模、小規模特認校制度、小中一貫教育、学校施設の維持管理(プール含)経費等について審議会での意見が記載され、公平な意見聴取や協議を行うのが困難なことから「再編案について地域の意見を聴取する」方法として次年度以降、各地区内小・中学校のコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の学校運営協議会委員から意見聴取を行うことと中間答申した。

<https://www.city.ome.tokyo.jp/uploaded/attachment/71713.pdf>



【審議会の学校再編案が公開され、各学校の学校運営協議会委員(以下CS委員)への意見聴取実施】

2025年10月、審議会の再編案についての説明会がCS委員へ行われ、意見聴取が開始される。CS委員への意見聴取は説明会当日および提出するアンケートに記載する形。

七小PTAからは「おそきの学校と地域を考える会(以下考える会)」に内容を知りたい、意見を言えないのかとの要望があり教育委員会に確認したが、教育委員会担当者に同席いただくことは一部地域のみではできないとのこととかなわず。考える会

にはCS委員も多数いる状況から、地域住民に公開する形で青梅市ホームページに掲載されている情報の勉強会を行なった。小曾木地区住民の方々には、2024年に小曾木地区の学校の存続についてのアンケートを考える会・第6支会にて実施し、小中学校の地区内存続を願う方85.8%、小中学校の一貫校化についても理解を示された方91.8%の回答をいただいている。今回の再編案では、小曾木地区内に小中学校が存続しない案が提示され、地域住民の動揺も感じる中での勉強会となった。考える会では、小中一貫校化の推進、地域活動推進を含めての行政の応援や協働も行っている。ぜひ、良い結果につなげたい。



現在は、CS委員からの意見を審議会および教育委員会事務局で集約し、再編案や小中一貫校化等の審議を進めている状況。審議会の議事録は公開されているので、詳細を知りたい方は青梅市教育委員会ホームページをご確認ください。(考える会 若林良弘)